

「レクリエーションは 全ての人々にとっての権利」

日本ダイバーシヨナル
セラピー協会 理事長 芹澤隆子

2年以上にわたるコロナ禍で、デイサービスや介護施設などでは感染防止のため集団レクリエーションや施設をあげての楽しい行事などを控える日々が続きました。ダイバーシヨナルセラピー(DT) コンサルタントとして20年近く、介護施設などで職員さんたちとレクリエーションやさまざまな「楽しむための取り組み」を実践してきた筆者も介護現場に立ち入ることができなくなりました。

毎日1カ国ずつ自国のレクリエーションセラピーの取り組みについてプレゼンテーションを行い、最終日にはパネルディスカッションも行われました。日本からは筆者が参加することが分かります。

アメリカでは「1960年代からボランティアとしてレクリエーションを提供していた女性たちが、のちにアクティビティ専門家に発展し、1981年にその分野で雇用される専門職のニーズを代表する組織(NAAP)が結成された。1988年には、連邦政府から公的助成を受けるすべての老人ホームは有資格専門家による継続的なアクティビティプログラムを提供することが義務付けられた」と言います。

オーストラリアでは1980年代、それまで高齢者施設のボランティアだった「ティーレディー」と呼ばれる人たちが、高齢者が社会的刺激から遮断され無為に過ごしていることに疑問を持ち、DTの専門職へと発展したとのこと。

また、カナダやイギリスからは、専門職としての法的規定はないが「決まりに縛られない自由さがあり、多くの職種(歌手、ソーシャルワーカー、アーティスト等)から資

人々のスキルの再構築や気分転換、QOLの向上、社会的なつながりを強化するために学び合い、交流しようという国際的な連携がますます広がっています。

「楽しんで生きる」の意味 国を超えて共有 DT&TRの国際イベント開催

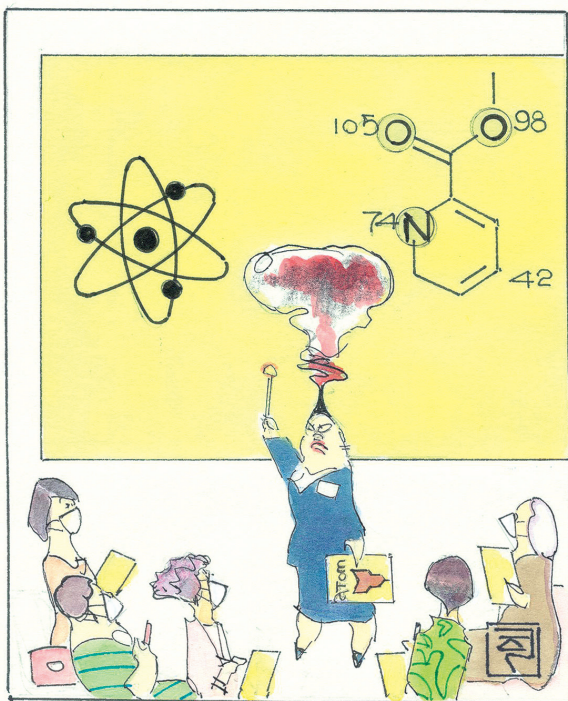
レゼンテーターとして参加しました。

今年2月22日から「国際学びの交流イベント」がオンラインで行われました。タイトルは、その主旨書の冒頭の言葉。

「楽しんで生きる」の意味、国を超えて共有。DT&TRの国際イベント開催。レゼンテーターとして参加しました。

今年2月22日から「国際学びの交流イベント」がオンラインで行われました。タイトルは、その主旨書の冒頭の言葉。

今年2月22日から「国際学びの交流イベント」がオンラインで行われました。タイトルは、その主旨書の冒頭の言葉。



ヘアデザインによるシンポジウム「核の脅威」
画・西澤勇司

介護保険の専門新聞 **シルバー新報** 電子版

どこでも読める。 いつでも読める。

シルバー新報電子版をお申込みください

富士山マガジンサービスからお申し込み下さい

●年間購読料 23,100円(税込) / 1部売り 660円(税込) 毎週金曜日発行

お問い合わせは…
環境新聞社 シルバー新報 販売部 TEL.0120-1972-65 〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-3 第1富澤ビル

富士山マガジン QRコード